



# 発達期における心理的課題に関する研究

[キーワード: 発達障害、愛着障害、発達段階]

教授 山本 真由美

## 〈研究の概要〉

今、何に関心があるかと考えれば、人間そのものでしょう。人間は誕生してから死ぬまで、さまざまな経験を通して発達し続ける。

乳児は、どのように言葉を学習していくのか、歩けるようになるのかなど考えると不思議である。そして、思春期、青年期、成人期にかけて問題が生じてくる。それをどのように解決するかを考え、行動することで更なる発達がある。

現在、高齢者が日本の人口比率が高い。この高齢者の発達を見据え、幸せな老後とは何かを考えることも大切なことである。それらを考えることは、学術的意義のみならず社会的意義も大きいものである。

## 〈主要研究業績〉

- ・山本真由美(2018)「第7章臨床心理の立場からみた医療職を志望する非定型発達者の課題」藤崎和彦監修 樫田美雄・岡田光弘・中塚朋子編著 晃洋書房 111-131
- ・山本真由美編著(2017)「発達心理学をアクティブに学ぶ」北大路書房
- ・山本真由美(2012)「I. 基本編 子どもの発達 13 問題行動」大嶋恭二・岡本富郎・倉戸直実・松本峰雄・三神敬子編『保育者のための教育と福祉の事典』建帛社 26-27
- ・山本真由美(2004)「6章実践園の保護者の意識の変化」倉戸直実・岸本義博編著『コンピュータを活用した保育の実際—ゆたかな心を育むために』北大路書房 52-67
- ・濱谷沙世・武田知也・山本真由美(2016)「発達障害傾向とソーシャルサポートが思春期の摂食障害傾向に及ぼす影響」人間科学研究 徳島大学 24 1-8
- ・臨床心理士を目指す大学院生に対するがんや緩和ケアに関する教育プログラムの作成の試み—医学部学生との意識の違いを比較して—」人間科学研究 徳島大学 8-28
- ・上原郁美・山本真由美(2015)「保育場面における保育者のオノマトペ使用に関する意識」人間科学研究 徳島大学 1-17

専門分野 : 心理学(臨床発達心理学研究)

E-mail : yamamotom@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7192

Fax : 088-656-7192

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/72572/profile-ja.html>

